

編機の「き・ほ・ん」

ゴム編機 (リブニッター) ①

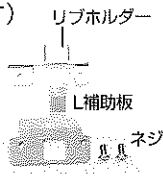
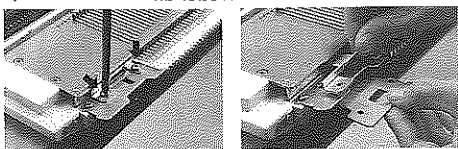
今月号でゴム編機を使った作品をご紹介します。
そこで今回はSRP-60NIについてご紹介します。

ここがポイント

- ① きれいな編地は正しいセットから。
- ② 取り付け金具はしっかり固定。
- ③ 編み始める前に知っておくことがある。

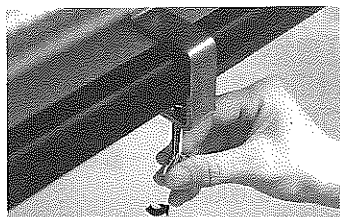
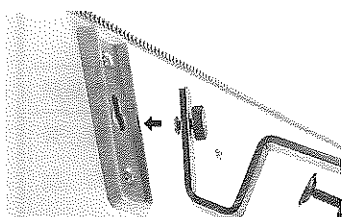
リブニッターの取り付け方

① 本機にリブホルダーが付いている場合 (SRP-60NIは補助前縁を使うのではなくして使います)



- ① ミソ板の端のネジ
- ② リブホルダーとL補助板をはずします。
- ③ 右側もはずします。

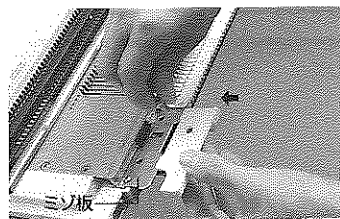
② 本機をテーブルに取り付けます



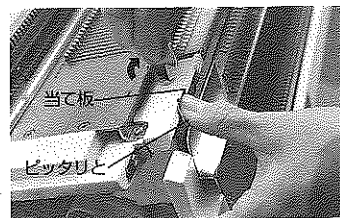
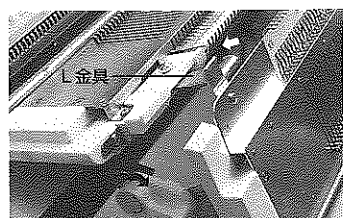
- ① 本機裏側の穴にリブニッターの取り付け金具を差し込み、しっかり締めます。
- ② テーブルの端に押しつけて取り付けます。
● しっかり固定します。

③ 補助前縁を取り付けます (左・右)

補助前縁のネジをはずし、ミソ板をはさむようにはめ込み、ネジを少し締めておきます。



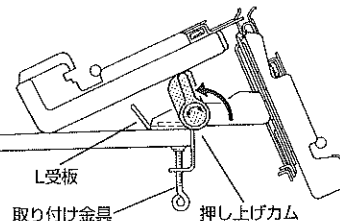
④ リブニッターの本体を取り付けます



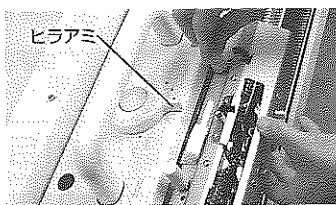
- ① 押し上げカムをたおし、L金具を補助前縁の穴に押し込みます。(右を先に差し込みます)
- ② 当て板を補助前縁にすき間があかないように強く押しつけネジで締めます。

⑤ テーブルにしっかり固定します

左右のL受板の内側に本機を取り付け金具をしっかりと締め押し上げカムをセットし、本機のためを矯正します。

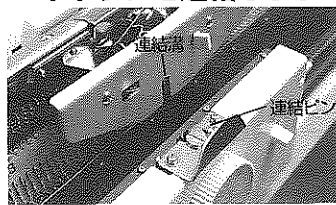


⑥ リブアームを取り付けます



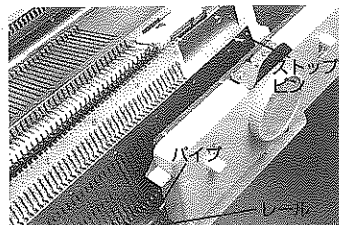
本機のナットをゆるめ。リブアームを奥まで差し込み締めます。
● ガムリバーは必ずヒラアミにセット

⑦ 本機キャリジとリブキャリジを連結します



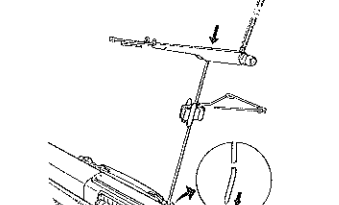
リブキャリジの連結ピンを溝にパチンと音がするまで押し込みます。
● 音がしないときは正しいセットができていない状態なので、始めからやり直してください。

⑧ リブキャリジをセットします



右端からストップピンにぶつけないよう手前に傾けて入れます。

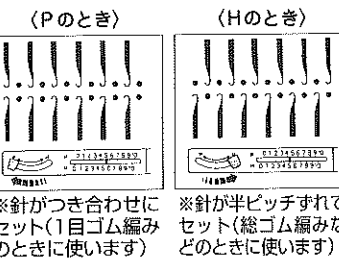
⑨ オートテンションを取り付けます



糸取り棒は本機だけで編むときは逆の向きに立てます。
● テンションガイドが付いている場合はネジ側の方から後ろに動かします。

編み始める前に

① 半ピッチレバーと振りハンドルの使い方



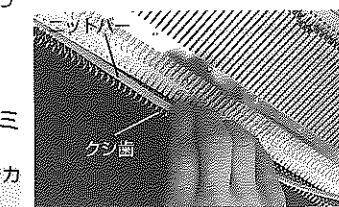
【振りハンドル】は回転させるとリブニッターが横に動きます。通常は[5]に合わせます。(本機と同位置にセットされます。しまうときは[10]に振ってコンパクトにします)

【半ピッチレバー】は本機とリブニッターの向き合った針の位置を半ピッチ分ずらすレバーです。

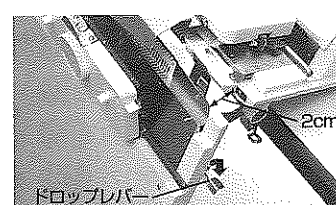
※針がつき合わせにセット(1目ゴム編みのときに使います)
※針が半ピッチずれてセット(総ゴム編みのときに使います)

② ニットバーの使い方

針出しをする前に本機のクシ歯とミソ板の間にはめ込みます。
● 細い糸で目をつめて編むときやパンチカードを使って編むときに使います。

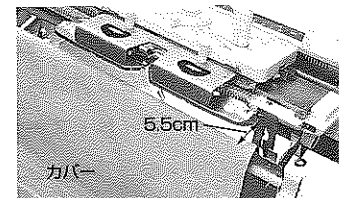


③ ドロップレバーの使い方



本機とリブニッターの間隔を広くするときに使います。

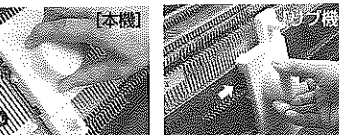
① レバーを下に1回押すと2cm下がります。落ちた目を拾うとき、編地を見るとき、糸を通すときに使います。



② レバーをさらに1回押すと5.5cm下がります。リブニッターをセットしたまま本機だけ使う場合の位置です。

④ Pキャリジの使い方

針出しや編目をはずすときにミソ板ののせて使います。
● 編目がきつときなどペラ越しをして編むときに使います。本機、リブ機両方出るときは、リブ機側を先に使います。



右から……針はC位置に出します。左から戻す……編目が落ち、針はB位置にセットされます。

編機の「き・ほ・ん」

ゴム編機 (リブニッター) ②

先月号に続き、ゴム編機を取り上げます。
今回はSRJ-70とリブ機全体について紹介します。

ここがポイント

- ① ワンタッチ式のセットはここが違う
- ② 編み出しをきれいにするには……
- ③ 手入れの方法

リブニッターの取り付け方

●本機にリブホルダーが付いている場合 (SRJ-70はそのまま取り付けます)

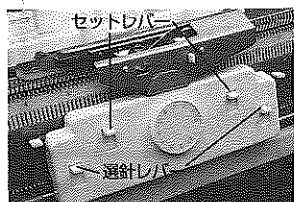
①リブニッターの本体を取り付けます



- ① L金具の先を本機のリブニッター取り付け穴に斜め上から差し込みます。(左右の位置が合わないときは先に右側を合わせます)
- ② 左右のL金具の先を取り付け穴に全部入れます。このとき押し上げカムは手前に倒しておきます。
- ③ L金具が本機とピッタリ密着させます。

選針レバーの使い方

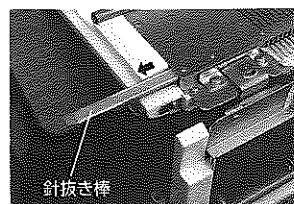
SRJ-70は1:1選針のジャカード編みができます。



【選針レバー】
1…ダブル編込み、多色ジャカード編み (リブ機の針が1本おきに選針されます)
※この時セットレバーは左右を0にします。
0…ダブル編込み、多色ジャカード編み以外のとき

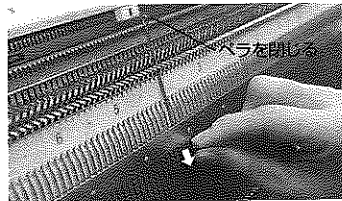
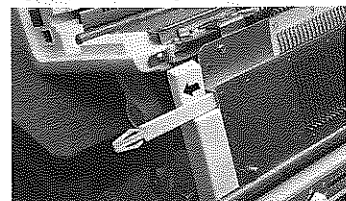
こんなときには……

①リブアームに針がぶつかって編めない



- ① 本機のミソ板の手前に入っている針抜き棒を鉛筆の後ろか、ドライバーなどで押し出します。
- ② 針抜き棒のスポンジが薄くなっていると針が浮きやすくなるため、確認し交換します。

②メリヤス針が破損したとき

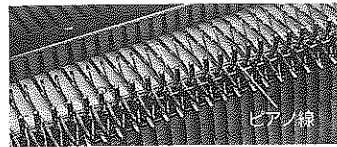
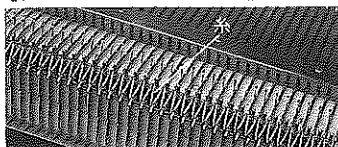


- ① リブ機の針抜き棒を、取り替えるメリヤス針のところまで抜きます。
- ② メリヤス針をミソの上端まで出すと、針の下端がミソから出るので、針のベラを閉じてからバットをつまんで下に引き出します。
- ③ ②と逆の手順で新しい針を入れます。
- ④ 針抜き棒を元に戻します。

③編み出しをきれいにするには……

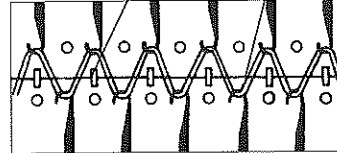
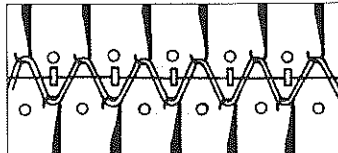
(編み出しの始めの目は大きくなりやすいので)

【総ゴムの針出しの場合】



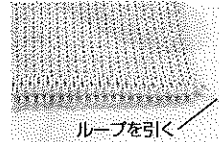
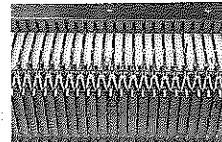
① 編み糸を本糸口に通し、1段編みます。(編み出し板をかけるための仮の糸かけです)

② 編み出し板をかけます。



(本機側を表にする場合)

(リブニッター側を表にする場合)



③ 本機側を表にする場合、リブニッター側の目をPキャリジで落とします。
※リブニッター側を表にする場合は本機側の目を落とします。

④ そのまま1段編み、本番の糸かけをします。次に袋編みを3段編み (ゴム編み止め)、それぞれの編み方で編みます。

⑤ 編み上がってアイロン仕上げをしてから、最初の糸かけに使った糸はしの反対側から引き抜きます。(抜いた糸は、とじ、はぎに使います)

④アームがきちんと取り付けできない

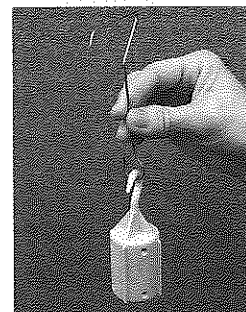


- ① 解除レバーを押して、必ず「カチッ」と正常位置に押し込んでから取り付けます。
- ② カムレバーは必ず「ヒラアミ」にセットしてから取り付けます。

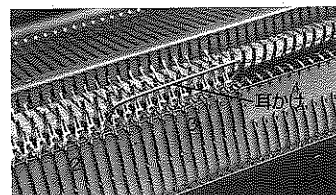
⑤編み目が浮き上がってよく編めない

① 全体的に浮き上がるときは、オモリが足りないことが考えられるため、数を増やします。(編み方、糸の種類、太さによって加減します)

編目数	おもりの数
40目まで	1コ
40目～80目まで	2コ
80目～120目まで	3コ
120目～160目まで	4コ
160目～200目まで	5コ



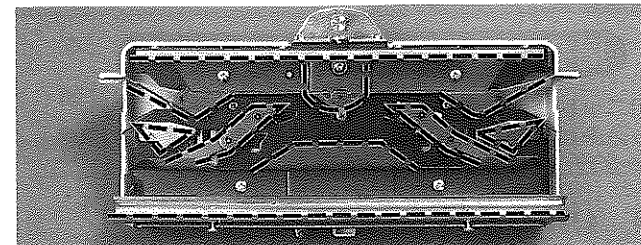
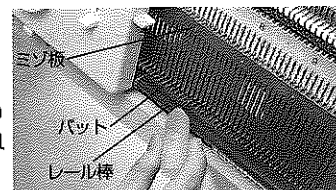
② 端目が浮き上がるときは、耳かけと耳おもりを編地の両端にかけます。



③ 10段おきくらいに上に付け替えます。

リブ機の手入れ

①注油の方法
・注油する前に、糸くずやほこりはブラシで落とし、油の黒い汚れは布で拭きとり、油を塗ります。



・キャリジの裏面の点線部分に注油します。